

平成29年度第3回ICT利用教育改善研究発表会運営委員会
議事録

I. 日時 平成29年11月18日(土) 13:30~15:30

場所 私立大学情報教育協会事務局

II. 出席者 角田担当理事、東村委員長、田中宏明委員、服部委員、渡辺委員(ネット参加)
(事務局 井端事務局長、中村事務局員)

III. 検討事項

今回は主に、平成30年度の発表会の方針と募集要項の見直し、さらに今後のスケジュールについて確認した。

1. 平成30年度の発表会について

本年度を振り返り、総括を行った後、30年度発表会に向けて以下の点を検討した。

(1) 発表会の開催方針確認、開催日・会場

- ① 発表の募集時期は、平成29年12月下旬に実施することにした。案内は、書面による案内(加盟校の会員代表者と加盟校・非加盟校の大学長)と、メールによる案内(サイバーFD研究員、29年度発表会参加者)とした。
- ② 発表会(1次選考会)は、平成30年8月9日東京理科大学森戸記念館とした。

(2) 発表募集要項

- ① 発表募集要項にテーマ(「教育の質転換を目指すICT利用」)を付けることを確認した。
- ② 「発表募集要項」の表示を目立つようにするとともに、研究発表の内容がテーマに沿うよう、応募要件の4条件を「すべて満たしているもの」とした。
- ③ 以上の他は、前年度と同様とした。

(3) 「発表申込」の体裁・書式

以下の点を検討し、修正・決定した。

- ① 「発表内容」の記述文字数を「200文字以上400文字以内」とした。
- ② 発表内容の分類の表記を修正した。
「アクティブ・ラーニングを展開するための取り組み」では選択肢の一つに加えるため、分類の表記を「ICTを活用した取り組み」とした。その上で、選択肢として「アクティブ・ラーニング、双方向型授業、反転授業、PBL、TBL、事前・事後学修、協調・協働学修、その他」とした。
- ③ 教育分野の選択肢に「キャリア教育系」と「分野横断系」を追加した。
- ④ 応募申込の案内を私情協ホームページで掲示・公表することにした。

(4) ICT利用による教育改善発表会論文の体裁・書式

- ① 「教育改善の目的・目標」について、問題の所在からICT利用による教育改善の必要性和解決策の研究が体系的に読みとれるよう、「問題の所在」、「研究の目的・目標」の例示を見直し、修正した。
- ② 「授業概要と教育改善の内容」について、教育改善の目的・目標を達成するためにICT利用による改善内容と方法が体系的に記述されるように、以下のように改めた。
※(1) 授業概要に「ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関係性」、「事前・事後の学修時間数」を追加した。
※(2) 改善内容に「改善を始めた時期と期間」、「改善研究の仕組み(PDCA)」、「改善で使用する情報環境など」を追加した。

2. その他(今後のスケジュール等について)

- ① 今後のスケジュールについて、発表募集から書類選考、発表会と一次選考、二次選考等の予定スケジュールの確認を行うとともに、周知を図るため平成30年3月の臨時総会において案内をすることを確認した。
- ② 新たに次年度に追加する委員候補者として(東京理科大学の山本氏)を検討し、30年度の理事会に委嘱を諮ることとした。
- ③ 次回の委員会は、平成30年5月19日(土)とした。